

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月26日

計画の名称	所沢駅周辺地区整備計画											
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	所沢市, 埼玉県											
計画の目標	所沢駅周辺地区におけるまちづくりの将来像である「市の表玄関にふさわしい魅力と活力あふれる新生活拠点」として、様々な多くの人が集まり、楽しく行き交い、また安心して暮らすことのできるまちを実現するため、計画的な土地利用誘導と市街地開発事業等を推進する。											
全体事業費 (百万円)	合計 (A + B + C + D)	5,070	A	5,070	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	・ 居住人口を5,548人 (H26.1) から6,100人 (H30) に増加 ・ 事業地区を含む周辺に居住する人口 (御幸町 + 東町 + 日吉町 + 東住吉) の統計により算定する。	5548人	人	6100人
2	・ 所沢駅の乗車人員を95,309人 (H24) から96,000人 (H30) に増加 ・ 所沢駅の乗降人員 (年度内の一日平均) により算定する。	95309人	人	96000人
3	・ 都市景観や街並に対する市民の満足度の向上 ・ 市民意識調査における項目『都市景観や街並の満足度』に対する「満足」 + 「まあまあ満足」している割合 (%) で算定する。	57%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初現況値	5,548人 (H26.1)、95,309人 (H24)、57.4% (H24)											

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	所沢市	間接	組合施行	-	-	所沢東町地区第一種市街地再開発事業	商業・業務、住宅等 約0.6ha	所沢市						1,096	-	
	A13-002	市街地	一般	所沢市	直接	所沢市	-	-	所沢駅西口土地区画整理事業	土地区画整理事業 約8.5ha	所沢市						320	1.54	
												小計						1,416	
道路事業	A01-003	街路	一般	埼玉県	間接	組合施行	都道府県道	改築	所沢東町地区((都)中央通り線)	拡幅整備 L=57M	所沢市						180	-	
	A01-004	街路	一般	所沢市	間接	組合施行	市町村道	改築	所沢東町地区((都)中央通り線)	拡幅整備 L=57M	所沢市						937	-	
	A01-005	街路	一般	埼玉県	間接	組合施行	都道府県道	改築	所沢東町地区((都)所沢浦和線)	拡幅整備 L=96M	所沢市						633	-	
	A01-006	街路	一般	所沢市	直接	所沢市	区画	改築	所沢駅西口土地区画整理事業	土地区画整理事業 約8.5ha	所沢市						1,119	-	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施し、その結果を都市整備部公共事業評価検討会議に報告し参考意見を聴取した。	令和3年1月
	公表の方法 埼玉県都市整備部市街地整備課及び所沢市のホームページ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業2地区（住戸数 計466戸）の施設建築物工事に着手した。 ・土地区画整理事業の使用収益開始面積が増加し、良好な市街地の形成が図られた。 ・市街地再開発事業及び土地区画整理事業ともに施行中であるが、事業着手により目に見えてまちづくりが動き出したことで、民間による開発への波及効果が見られた。 <p>本計画は、関連計画（所沢駅周辺地区整備計画（重点配分））と一体で成果目標を立てているため、両計画を一体として評価を行っている。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業区域内に既存の公園がなかったため、平成29年度に一部整備のうえ開放し、地区内外の子どもたちの遊び空間となった。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・所沢東町地区第一種市街地再開発事業及び同事業に関連する街路事業並びに所沢駅西口土地区画整理事業については、次期社会資本総合整備計画（第2期計画）の目標が達成できるよう継続して推進していく。 ・社会資本総合整備計画の目標に掲げる所沢駅周辺地区におけるまちづくりの将来像のさらなる推進のため、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業については、平成30年度から関連計画（重点配分）に移行し、施設建築物工事の進捗に係る適正管理等を行うことにより、成果指標の効果が発現するよう事業実施期間内での完成を目指す。 ・居住者及び来街者の増加に対応した歩行者の利便性、安全性及び回遊性を促す歩行者ネットワーク整備に向けた「所沢駅周辺地区都市再生整備計画事業」を次期社会資本総合整備計画（第2期計画）に追加し、成果指標の効果が発現するよう事業を推進する。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	事業地区周辺の居住人口数		
	最終目標値	6100人	市街地再開発事業2地区及び土地区画整理事業に誘発され、事業地区周辺において分譲共同住宅（民間開発）が建設されたことから、事業地区周辺の居住人口が増加したと考えられる。
最終実績値	6668人		
2	所沢駅の乗降人員数		
	最終目標値	96000人	市街地再開発事業2地区及び土地区画整理事業に誘発された民間開発並びに所沢駅の駅舎リニューアルで物販店等が新規出店されたことから、まちに新たな魅力が生まれ、乗降人員数が増加したと考えられる。
最終実績値	104984人		
3	市民意識調査の都市景観等の満足度		
	最終目標値	60%	市街地再開発事業2地区の施設建築物の建築工事着手及び土地区画整理事業による物件移転が始まったことにより、それぞれの事業の進捗が目に見える形となったこと、所沢駅の駅舎リニューアルで物販店等が新規出店されたことにより、まちに新たな魅力が生まれたこと等が満足度を押し上げたものと考えられる。
最終実績値	67%		